

建設工業新聞

7月10日
木曜日

発行所 北陸工業新聞社

本社 〒921-8111
金沢市若草町2番42号
電話 (076) 241-8361(代)
支局 福井・富山・新潟

品質管理優秀賞3社を表彰

空間情報技術事例発表会も開く

日本測量協会北陸支部

日本測量協会北陸支部
(大西宏治支部長)は8
日、2025年度「業務
報告会・空間情報技術事

例発表会・懇談会」を金
沢市の石川県地場産業振
興センターで開催し、25
年「公共測量品質管理優
秀賞」で、北陸支部管内
から選出された3社を表
彰した。また、空間情報
技術事例発表会では4社
が発表した。

最初に業務報告会があ

り、20人が参加。冒頭、
大西支部長が「昨年1月
の能登半島地震、9月の
奥能登豪雨の災害復旧対
応のための測量関係業務
などで、皆さん大変お忙
しいと思う。測量の技術
環境は様々な新しいもの
が出てきており、我々と

将来の会員サービスの向
上、広報の強化、検定事業
などを今後も推し進め、
業界全体の活性化を全国
に広げていきたい」とあ
いさつした。

国で35社が選ばれ、北陸
支部管内からは基準点測
量部門で北日本ジオグラ
フィ(石川県)、サンワ
コン(福井県)、NIX
JAPAN(富山県)
の3社が選出された。表
彰式では、清水本部長
から各受賞者へ楯と記念
品が授与された。

この後、25年「公共測
量品質管理優秀賞」の表
彰に移った。この賞は、
同協会が実施する公共測
量成果の検定において、
品質管理が特に優れてい
たと認められる測量作業
機関を表彰するもので、
今年で21回目。25年は全

次に、空間情報技術事
例発表会が対面とオンラ
インで行われ、対面では
23人が参加した。6人の
審査員の前で石川県の企
業4社が発表。北日本ジ
オグラフィが「航空レー
ザ点群(DEMIA)の
活用事例について」、国
土開発センターが「地す
べり調査における3次元
データの活用」、東洋設
計が「クラウドGISで
つなぐリアルタイム災害
復旧情報―令和6年能登
半島地震での事例―」、
日本海コンサルタントが
「三次元計測の活用事例」
をテーマにそれぞれ事例
を説明した。

うした技術
の変化に対
応していく
ことが大切
だ」とあい
さつ。続け
て、清水英
範日本測量
協会会長が
「今年度の
協会本部の
事業は、前
半は概ね好
調だった。



品質管理優秀賞受賞者ら＝金沢

発表会終了後には懇談
会が開かれ、26人が参加。
発表会の審査発表と表彰
が行われた。